

大船渡市 綾里地区 水害ハザードマップ

大船渡市では、住民のみなさんに防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に、「大船渡市水害ハザードマップ」を作成しました。
自宅・学校・職場などの周辺にどのような災害の危険性があるのか、また、最寄りの避難所や避難経路の確認など、家庭や地域内での防災の取り組みをご活用ください。

防災メモ
家族みんなで避難先や緊急時の連絡先などについて話し合い、ここに書き込みましょう。避難先までにかかる時間や危険なところなどをチェックし、安全で避難しやすい経路を確認しましょう。

●避難所・避難場所

第1候補	第2候補	第3候補
避難所・避難場所までの危険箇所	避難所・避難場所までの危険箇所	避難所・避難場所までの危険箇所
歩いて避難した場合にかかる時間	歩いて避難した場合にかかる時間	歩いて避難した場合にかかる時間
分	分	分

●家族の連絡先				
名前	生年月日	血液型	会社・学校などの電話番号	携帯電話番号

●いざというときの連絡先	
名 称	電話番号
大船渡市役所	0192-27-3111(代)
東北電力(停電時)	0120-175-366
大船渡警察署	0192-26-0110(代) / 110 (故障・不具合時)
大船渡消防署	0192-27-2119 / 119

発行 大船渡市役所 TEL:022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15 TEL:0192-27-3111(代表)

緊急時の連絡方法

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開設されます。

災害用伝言ダイヤル ①②③④
このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(灾害情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。

〈体験利用日〉
毎月1日・15日・正月三が日 ●防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
防災ボランティア時間(1月15日9:00~1月21日17:00)

災害用伝言板(web171) <https://www.web171.jp/> 左記URLへアクセスし、案内に従って操作してください

スマートフォン・携帯電話・PC等から災害用伝言板(web171)にアクセスすることで、テキストによる安否情報(伝言)の登録・確認を行うことができます。※体験利用日は、災害用伝言ダイヤルと同様です。

※上記の他に携帯電話各社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等でご確認ください。

非常持ち出し品

いざというときに備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。非常持ち出し品は、リュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
日頃から、3日の分の食料と飲料水を、非常備品として常備しておきましょう。	常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) 包帯、ガーゼ、ばんそうこう 傷薬、消毒薬 持病のある方の薬、お薬手帳 ヘルメット、防災グッズ ホイースル	マスク 体温計 現金(小銭) 預貯金通帳、印鑑 クレジットカード類 健康保険証 マイナンバーカード、 免許證など(本人確認できるもの)
飲料水(1人1日3リットルを目安) 非常食(缶詰・パッケージ食品など) 携帯食(ヨーグルト・キャンディーなど) 粉ミルクと離乳瓶(赤ちゃんがいる場合)	包帯(ビニール袋) 携帯ラジオ(予備電池) 携帯電話(充電器・バッテリー) 筆記用具(消褪マジック) 洗面用具 メガネ 使い捨てカイロ	紙おむつ 生理用品 布ガムテープ ロープ 地図 ハイヤードマップ
衣類など	衣類(厚手の物と薄い物) 下着 タオル、毛巾 手袋、軍手 寝袋 雨具	懐中電灯(予備電池) 携帯ラジオ(予備電池) 携帯電話(充電器・バッテリー) 筆記用具(消褪マジック) 洗面用具 メガネ 使い捨てカイロ
感染症対策(感染しない・させない)		

新型コロナウィルスに限らず、風邪や季節性インフルエンザなどの感染症対策として、一人ひとりの咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。風邪症状があれば、外出を控えるとともに、やむを得ず外出される場合には、マスクの着用を心がけましょう。手洗いや咳エチケットなど、以下のような注意点を参考に、感染しない・させないようにご協力ください。

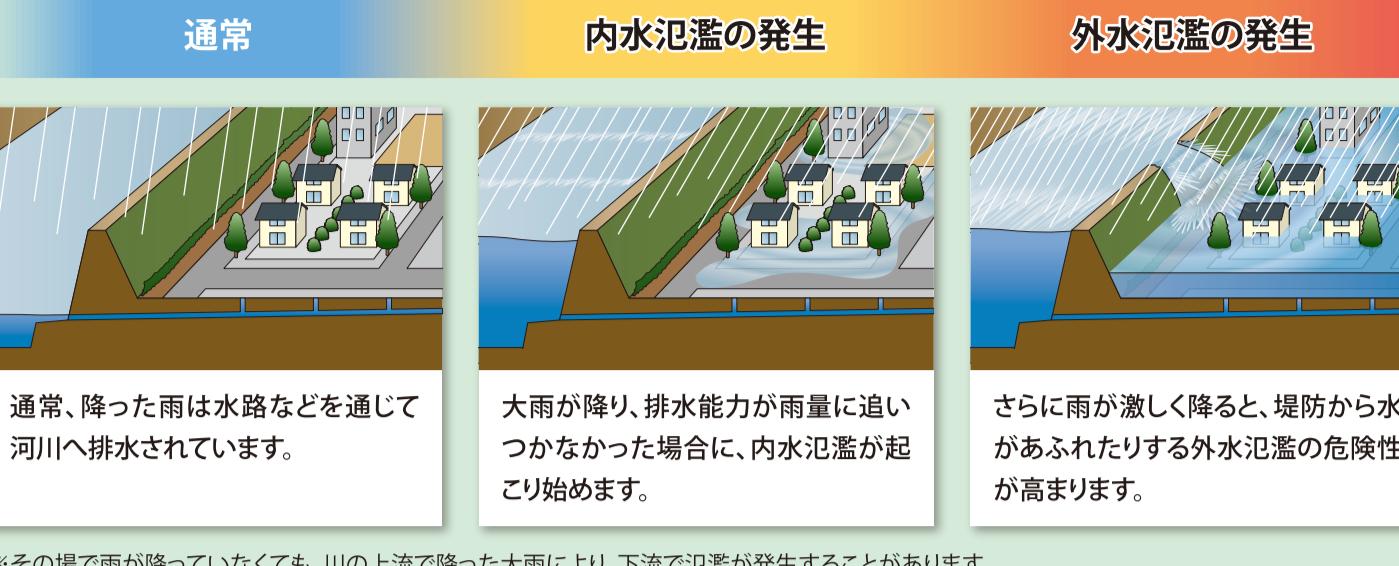
また、感染症対策により避難所の受け入れが制限されている場合がありますので、自宅の浸水しない階への垂直避難や、親戚や知人への避難など、避難所以外の避難先も検討しておいてください。

□こまめに手洗い・手指消毒
□咳エチケットの徹底
□こまめに換気(エアコン併用で室温を28℃以下に)
□身体の距離の確保
□「3密」の回避(密集、密接、密閉)
□一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
□毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はマリゼサ自宅で療養



洪水の発生するしくみ

洪水には、降った雨水が水路などで排水しきれなくなることにより起こる「内水氾濫」と、川の堤防が壊れたり堤防から水があふれたりして発生する「外水氾濫」があります。洪水の発生するしくみを理解して、避難所等まで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。



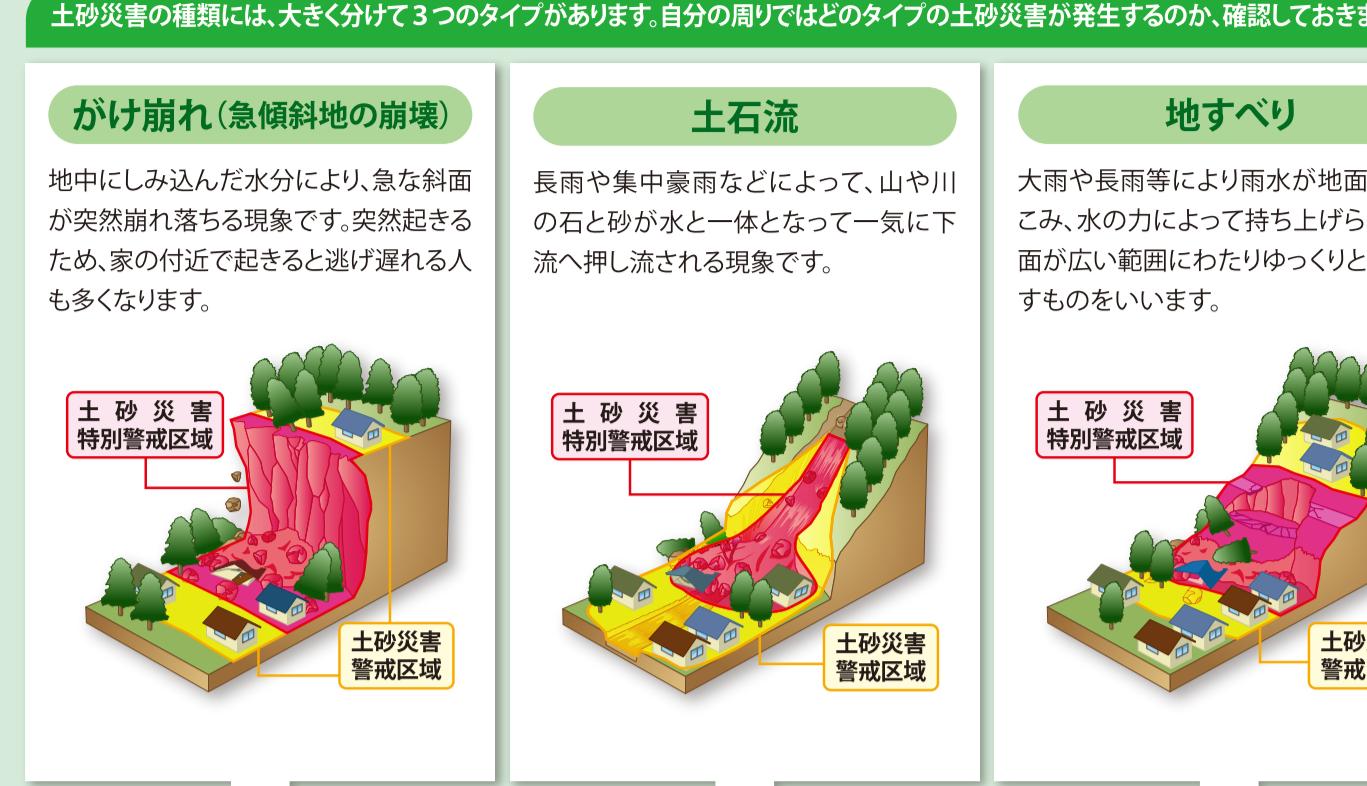
雨の強さと降りかた

	やや強い雨 (10~20mm未満)	強い雨 (20~30mm未満)	激しい雨 (30~50mm未満)	非常に激しい雨 (50~80mm未満)	猛烈な雨 (80mm以上)
1時間雨量と予報用語					
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。 ●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。 ●滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	●傘をさしてもぬれる。 ●地面一面に水たまりができる。	●傘をまったく役に立たなくなる。 ●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からはね返り足もがねれる。 ●水たまりができる。	●傘をさしてもぬれる。 ●道路が川のようになる。	●傘をさしてもぬれる。 ●道路が川のようになる。	●山崩れ、けがれが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	●土石流が起ります。 ●多くの災害が発生するおそれがある。
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	●側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。	●山崩れ、けがれが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	●土石流が起ります。 ●多くの災害が発生するおそれがある。	●雨による大規模な災害が発生するおそれがある。

*表に示した雨量と同じであっても、降り始めからの総雨量の違いによって被災の様子は異なることがあります。
*この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被災を記述していますので、これより大きな被災が発生したり、逆に小さな被災にとどまる場合もあります。

土砂災害の種類と前兆現象

台風や地震が起きたときに、地盤がゆるみ、かけ崩れや土石流、地滑りといった土砂災害を引き起こす可能性があります。下記のような前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、市役所へご連絡ください。



このような現象が土砂災害の前触れです



上記のような現象が前兆現象のすべてではありません。また、前兆現象がない場合でも土砂災害が発生することもあります。

警戒レベル、避難情報等の発表と避難行動

大雨による災害が発生する恐れがある場合、避難指示などの避難情報等に加えて、情報の意味を直感的に理解し、自らの判断で避難行動ができるよう、5段階の警戒レベルに分けて情報を提供しています。

情報の意味を正しく理解し、「自らの命は自ら守る」といった心構えで、適切な避難行動をとってください。

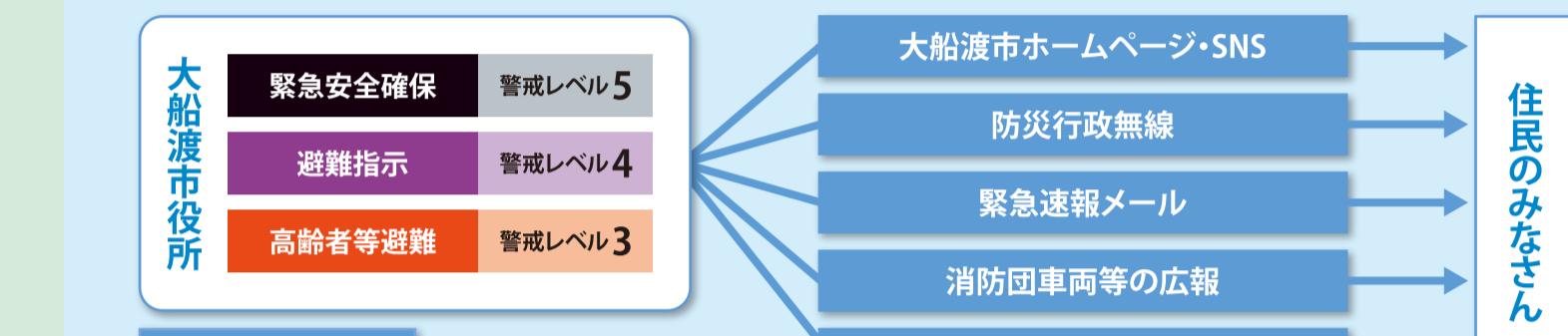
また、避難先として安全な場所にある親戚・知人宅へ避難することも考えておきましょう。

警戒レベル ^{※1}	状況	住民がとるべき行動	防災行政情報	避難情報等
警戒レベル5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	大雨特別警報	緊急安全確保
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	土砂災害警戒情報	避難指示
警戒レベル3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	大雨警報	高齢者等避難
警戒レベル2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	—
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	—

*1:各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。*2:災害の発生を把握できていない場合もあるため、警戒レベル5「緊急安全確保」は必ず発令されるものではありませんのでご注意ください。*3:高齢者等以外の方も危険を感じたときに避難してください。

情報の伝達経路

市からの避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんへ伝達されます。



インターネットによる情報の入手先

大船渡市	大船渡市の防災情報・避難情報の提供 https://www.city.ofunato.iwate.jp/	
国土交通省防災情報提供センター	リアルタイム雨量などの観測情報を提供 https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/	<